

線形代数学（講義・演義） A(2)

4. 行列式【4～6週】：

- (i) 置換と符号，行列式の定義と性質（基本変形，積，転置との関係など）
 - (ii) 行列式の展開，クラメル公式，行列式と体積
- うち (i) を3～4週，(ii) を1～2週で扱う。

アステリスク* はオプション

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

演義担当教員によって平常点（演習への参加状況，課題への取組状況など）から得られた演義成績（30点満点）をもとに，講義担当教員が期末試験を用いて，演義成績以上，100点以下の範囲で評価する。

教員によっては演義以外の平常点（レポート、中間試験などによるもの）を参考にすることもある。詳細は授業中に説明する。

本科目の評価が不合格であった履修者のうち，一定の基準以上の成績の者は再試験を受験できる。再試験の概要は KULASIS で履修者に通知する。なお再試験は9月末に実施予定である。

[Textbooks]

担当教員ごとに指示する。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

予習，復習とともに，演習問題を積極的に解いてみる必要がある。

[Other information (office hours, etc.)]